

新潟県立十日町看護専門学校卒業式 祝辞

新潟県立十日町看護専門学校の卒業式が挙行されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、本日は、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

つまり つど よ わか なかま むねあつ
「ここ妻有に 集い寄る 若い仲間 胸熱く」

この校歌の歌い出しにあるとおり、真新しい建物と共に、皆さんがその第一歩を踏み出された日の喜びと感動を今でも強く覚えています。

皆さんがこの学校で学ばれた三年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大という予期せぬ状況もあり、想像していたよりもはるかに多くの困難があったことと存じます。そのような中でも、「看護を学ぶ」という志を共にする仲間と励まし合い、そして高め合い、目標に向かって努力を重ねてこられたことに心より敬意を表したいと思います。

また、熱意をもってご指導いただきました塚田学校長をはじめ、教職員の皆様、学校の取組みにご理解とご協力を賜りました地域の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、超高齢社会を迎えた日本では、医療と介護の双方のケアを必要とする方が増えており、当市でも、「出向くケアと医療」の充実を図るため、令和3年に訪問看護ステーション「おむすび」を開設し、これまでに多くの方々からご利用いただいております。

このような社会の変化や地域住民のニーズの変化に伴い、看護にたずさわる人材はこれまで以上に幅広く求められるようになってきました。卒業生の皆さんにおかれましては、それぞれが選んだ場所で、この学校で学ばれたことを活かし、ご活躍されることを期待しております。

そして、看護師として存分に力を発揮していただくためには、まずは皆さん自身が心身ともに健康であることが何よりも重要であります。ぜひ、ご自分の健康には常に気を配っていただきながら、日々活躍されることを願っております。

当市では、市政の基本方針に「安全・安心なまちづくり」を掲げており、これからも、地域医療の充実や地域包括ケアシステムの推進を通じて、市民の皆様が生涯元気で健やかに暮らせるまちづくりを進めてまいります。卒業生の皆さんを含めまして、本日ご参会の皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

今、新潟県立十日町看護専門学校の開設の方針をはじめて伺った日の事を思い返しております。その後、様々な課題を一つずつ解決する中で開校の確信を持つことが出来た時に、本日まで出席されております新潟県議会議員 尾身 孝昭 先生とともに肩をたたきあわんばかりに喜びあった事を今でも鮮明に思い出します。改めまして、ご英断いただいた当時の県知事や関係者の皆様に感謝を申し上げます。

十日町市では、これからもこの大切な学校をしっかりと応援し、そして皆様とともに守りすることを今日の良き日にあたり、改めてお誓いいたします。

結びに、卒業生の皆さんがこれから歩む道が、校歌に歌われる「美しい よい人生で あれ」と祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和5年3月7日 十日町市長 関口 芳史